



2019年トレンド予測

新卒採用領域

正社員を中心とした新卒・中途採用のお手伝いをしている会社

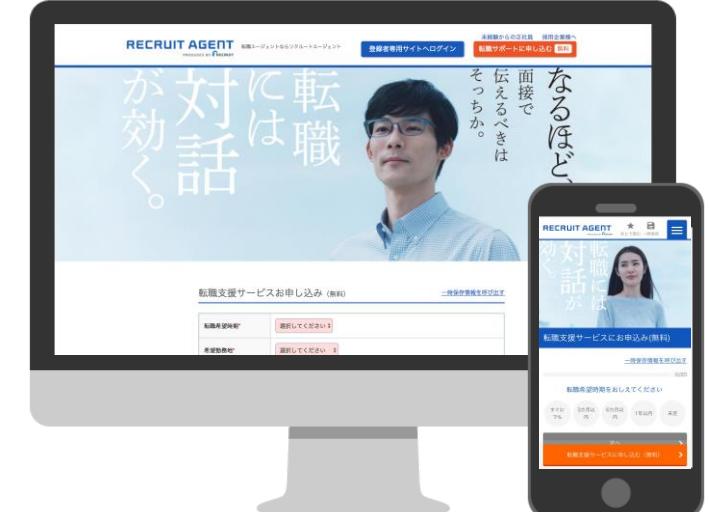
就職情報サイト



転職情報サイト



転職エージェント



※サービスお申し込みはサイトから実施



しゅういき 就 域



地域の中小企業と行政・金融機関が連携。
街ぐるみで地域に根差す若者の定着支援。

中小企業 1 社では実施できなかった

街ぐるみでの活動

地域で働く魅力の
発信力高まる！

採用・育成の
手厚いプログラム
提供

研修を通じた
学生同士のつながり

本来的に存在した
街への愛情を
地域に根差せる
場づくり

都市部からの
Uターン／Iターン
事例が増加

地方での採用課題

地方からの人口流出と昨今の売り手市場を背景に、
地域振興を図るという共通の目的が設定されたことで、
利害の異なる採用競合団士が地域コミュニティを形成。

仲間作りも視野にいれた

“地域ぐるみでの採用と育成”

1

地域に就労する価値を深く知つてもらうため
地域内の他社との面談を推奨

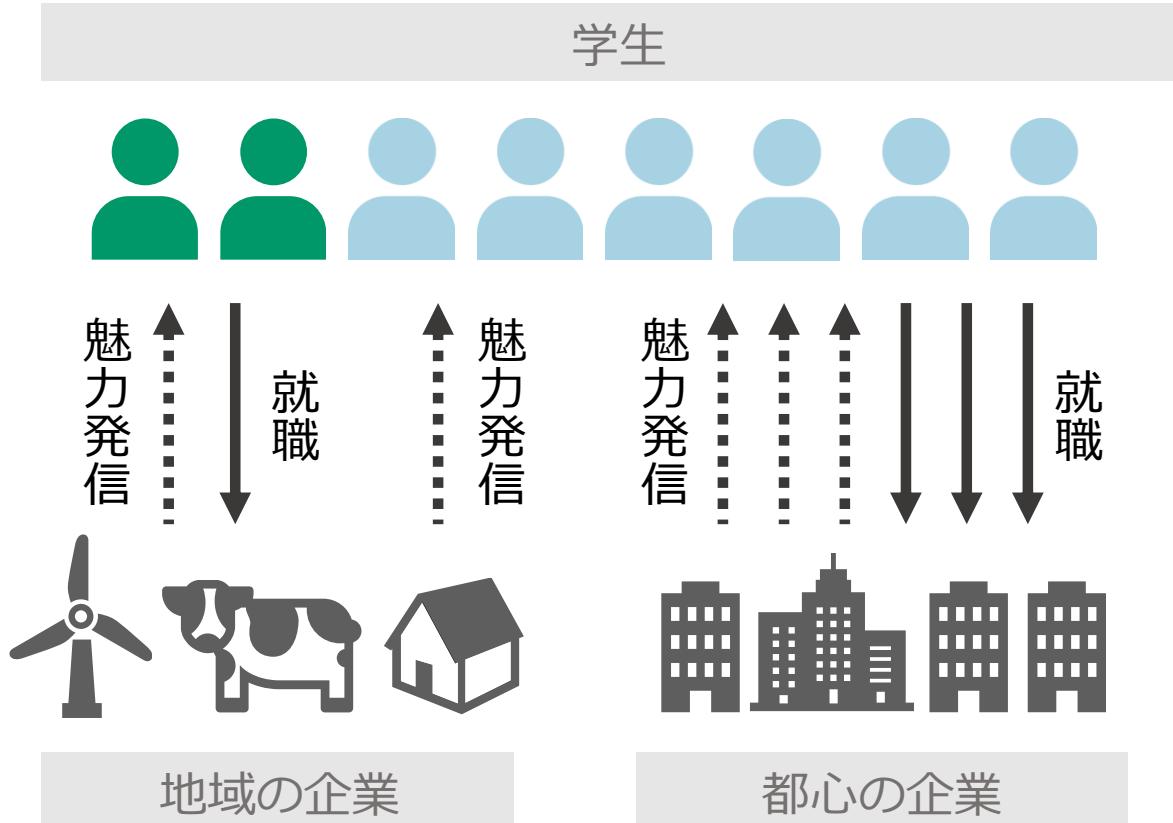
2

入社後の孤立防止と定着を見据えた、
合同での内定式や研修

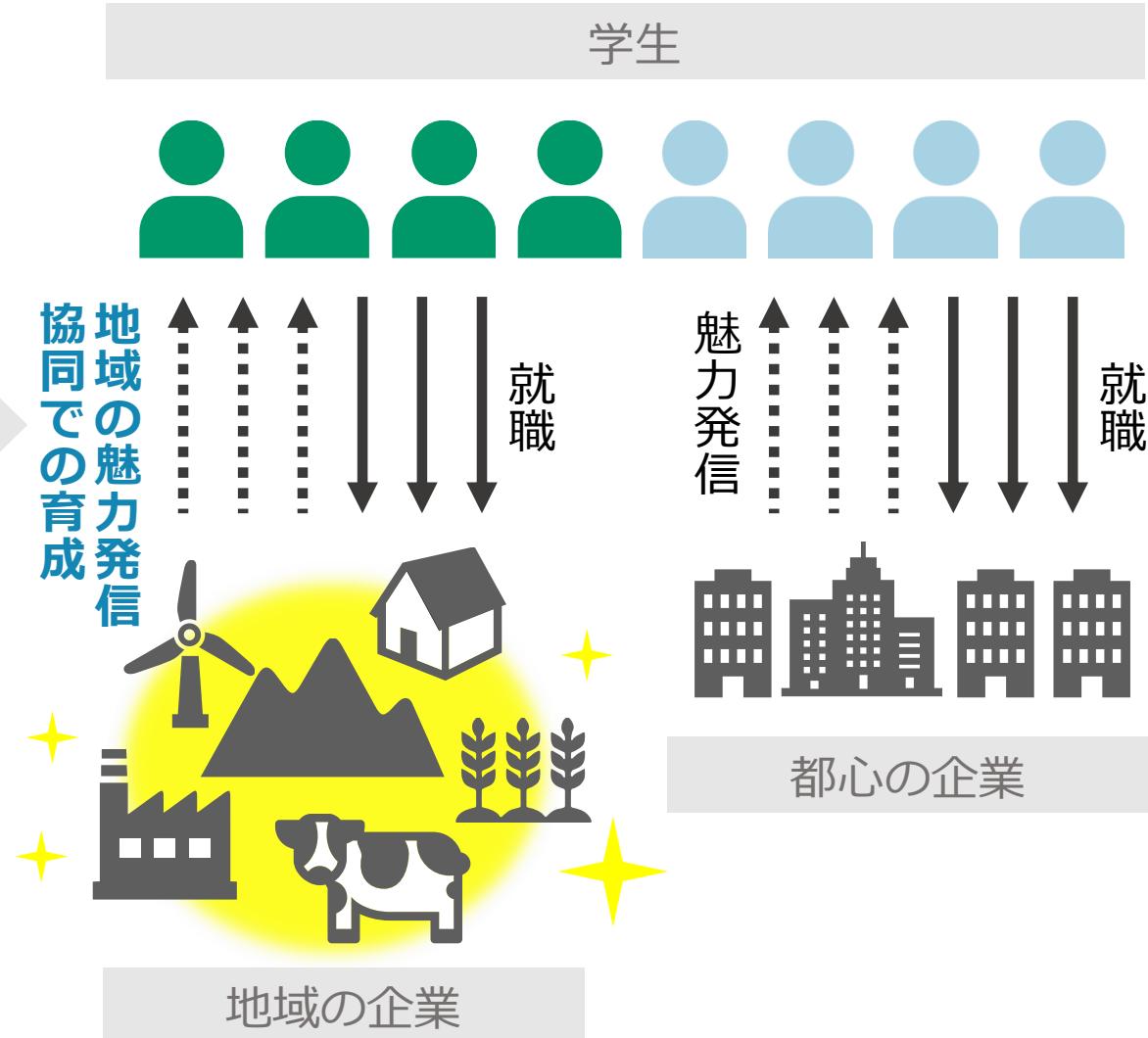
U・Iターンという稀少な学生たちの不安に寄り添う

新しい協同体とのマッチングの形

これまでの形



新たにできた形

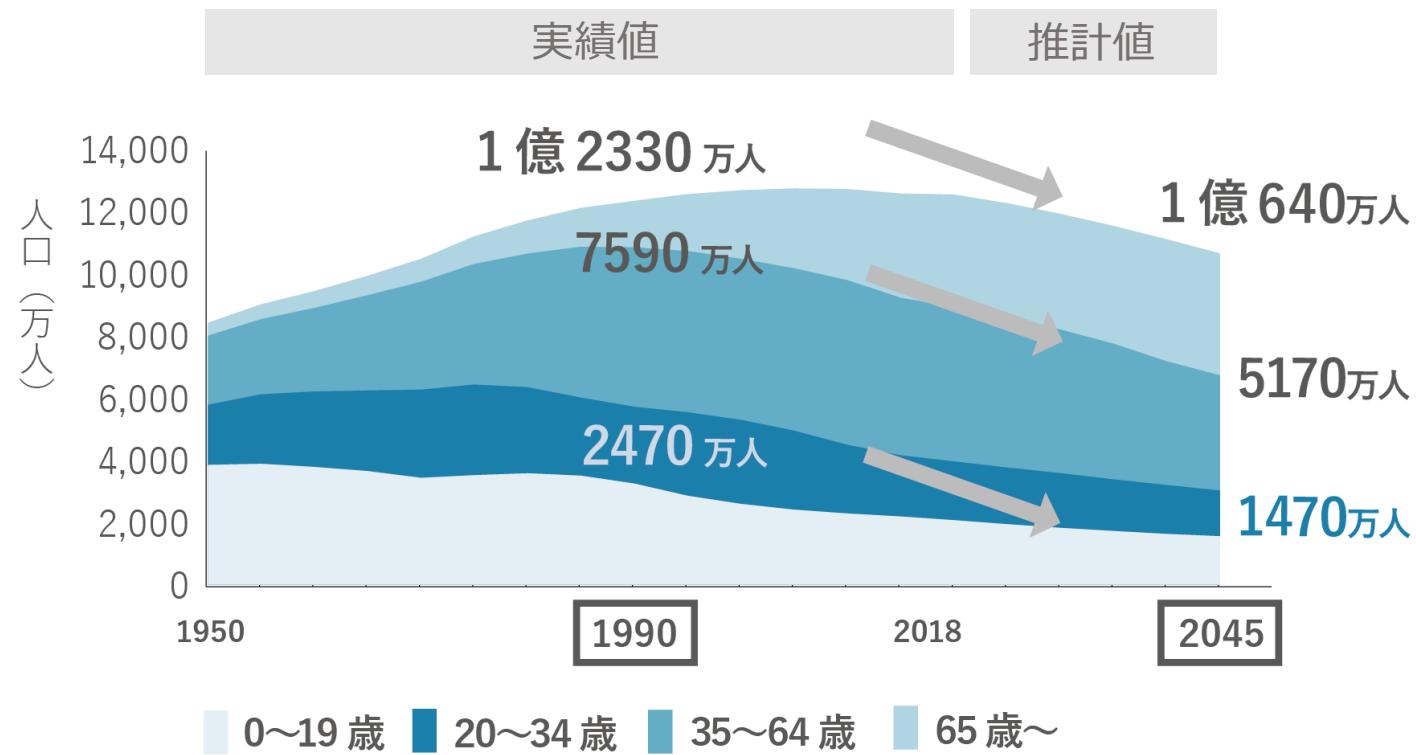


都心就職希望学生

UIターン希望学生

“日本の若者の比率が減少”

日本の若者人口の推移



1990年と2045年の比較



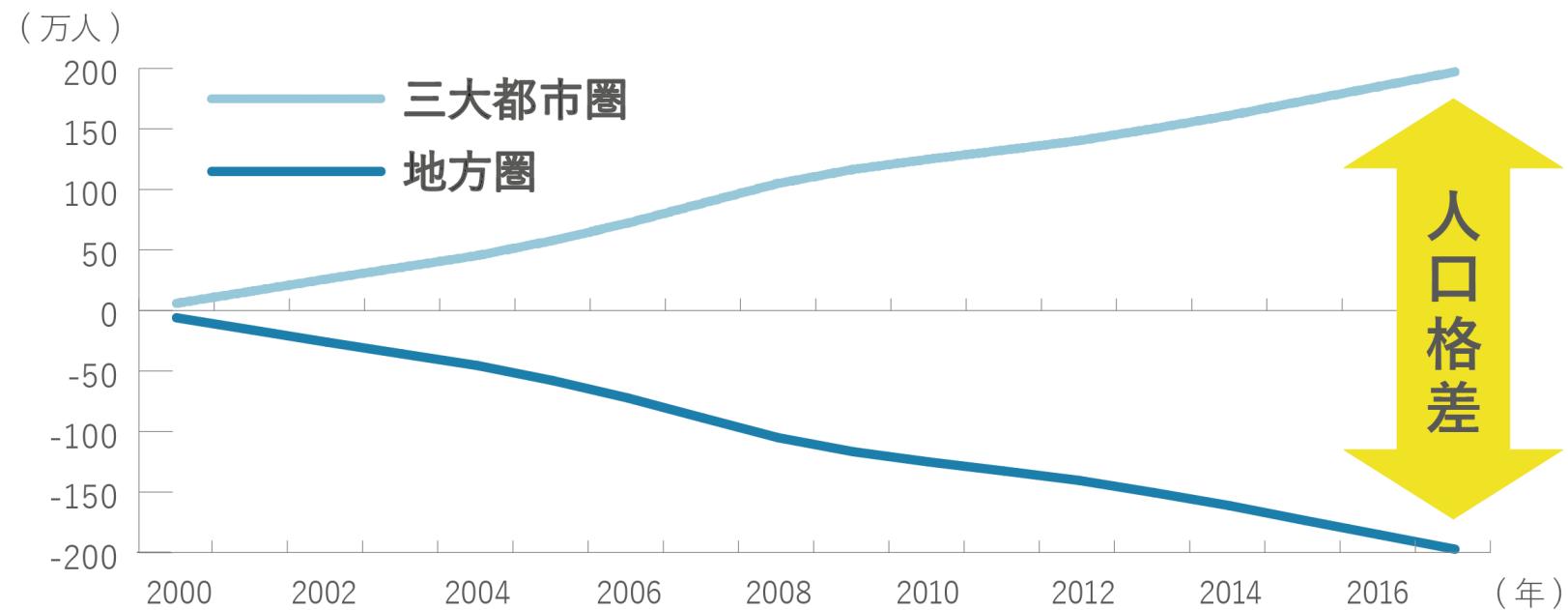
出典：2015年までは総務省統計局「国勢調査」（2015）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」を基に株式会社リクルートキャリア作成

※生産年齢人口は20~34歳、35歳~64歳の合計※人口数は一万の位を四捨五入、%は小数点第一位を四捨五入

“ 地方圏から三大都市圏へ人口流出 ”

三大都市圏および地方圏の転出入超過数の累計



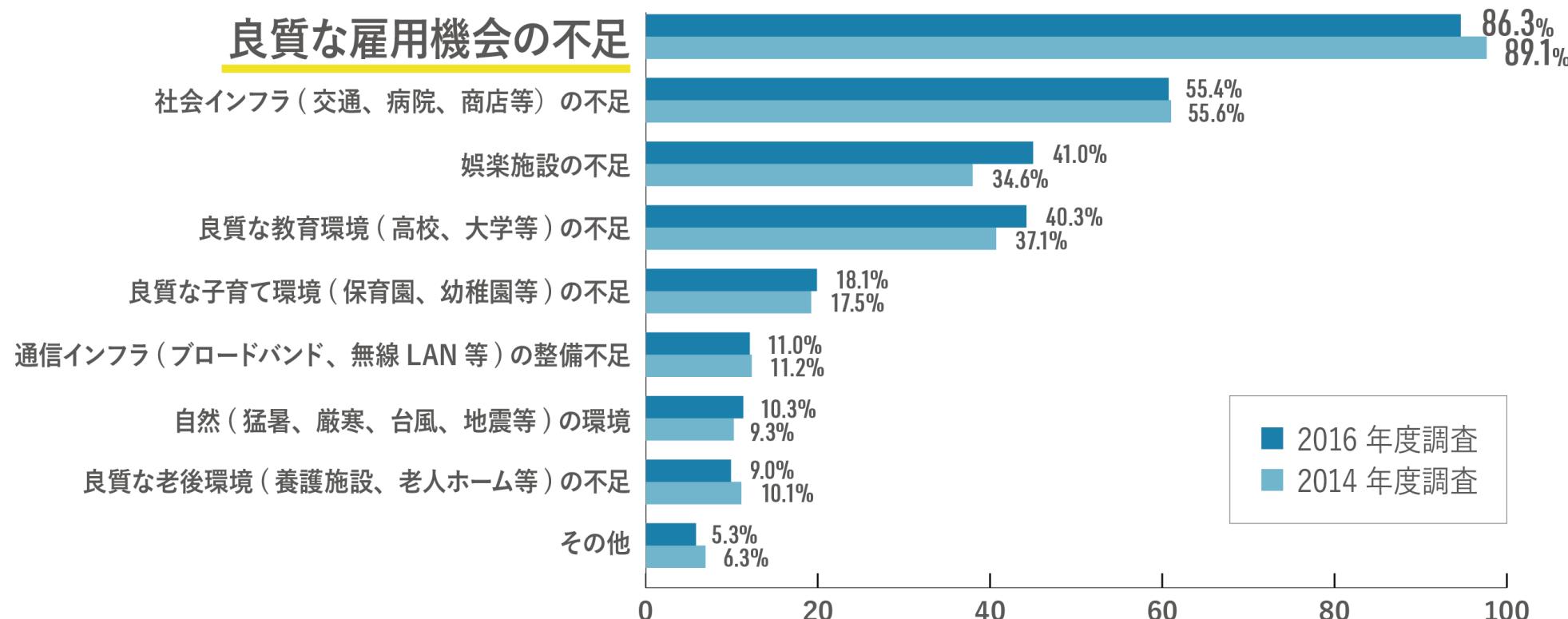
出典：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」（2018年8月28日）を基に株式会社リクルートキャリア作成

三大都市圏 | 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県

地方圏 | 三大都市圏以外の1道38県

“ 地方圏の人口流出要因は良質な雇用機会の不足 ”

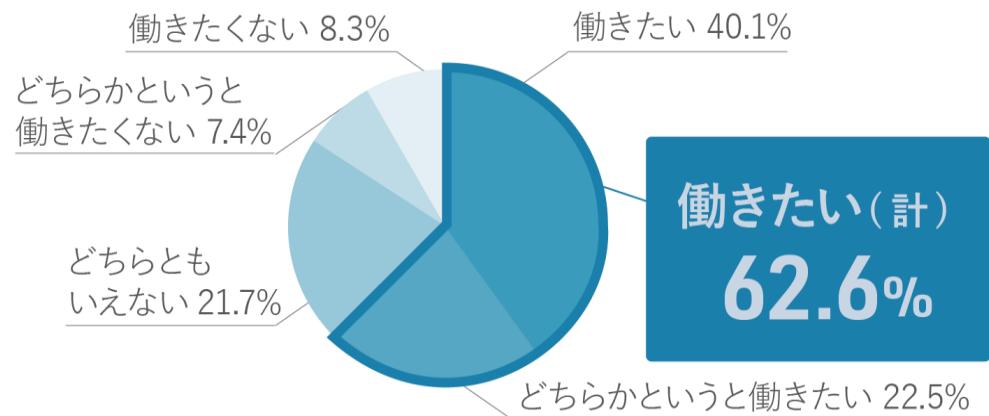
地方自治体が考える人口流出の要因



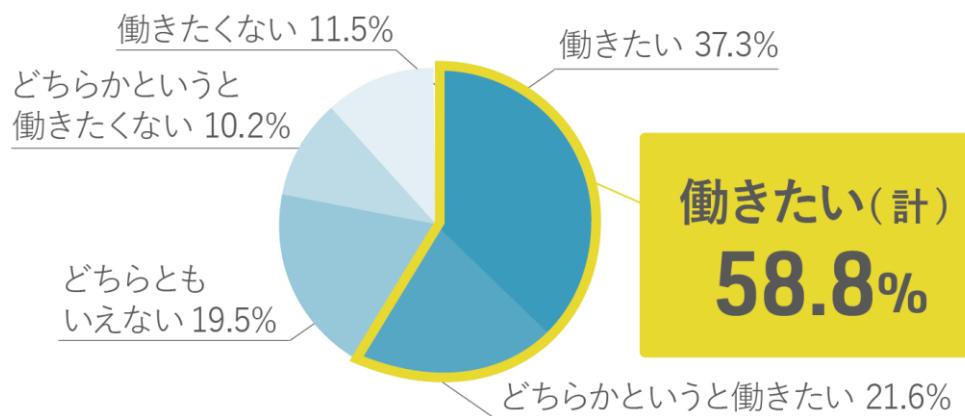
“働きたいが働きたくないを上回る”

大学生の地元就職意向

三大都市圏



地方圏



出典：株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所「大学生の地域間移動に関するレポート」

2015～2017年実施調査の3年分統合データより、大学生で就職先確定者の11,981名

※%表示の際に小数点第2位で四捨五入しており、合計値が100%に一致しない場合がある

※大学生の帰省先地域（地元）のうち、三大都市圏と三大都市圏以外（地方圏）とに分類

三大都市圏 | 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県

地方圏 | 三大都市圏以外の1道38県

“ 安心した環境は選択したいが、仕事が見つからない ”

Uターン移住のきっかけ

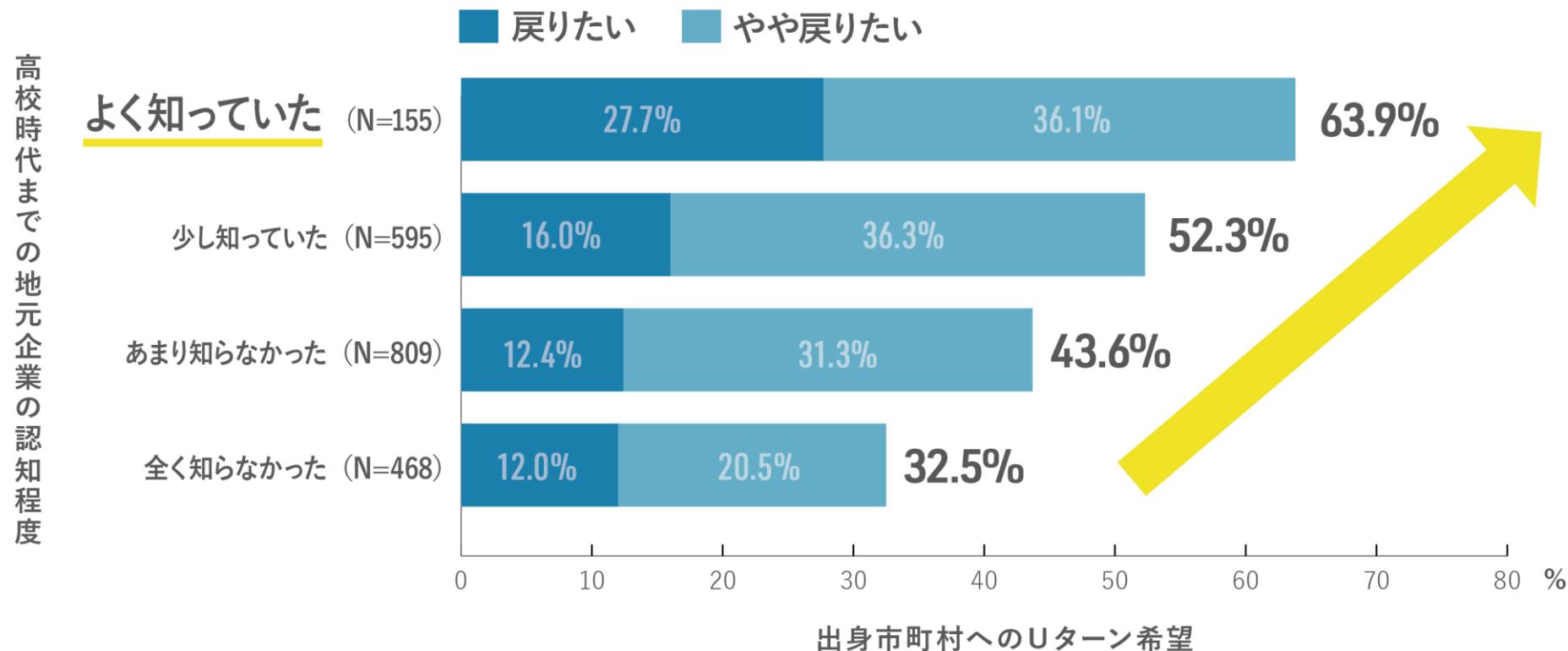
- | | | |
|----|-----------------------|-------|
| 1位 | 両親の近くに住みたくて | 27.1% |
| 2位 | 首都圏はずっと住む場所ではないと思って | 26.6% |
| 3位 | 首都圏での生活や人間関係にストレスが募って | 22.7% |
| 4位 | 両親が自分のことを心配していて | 17.6% |
| 5位 | 退職して | 16.5% |

Uターン移住の不安

- | | | |
|----|-----------------------|-------|
| 1位 | 求める職種の仕事がない / なさそう | 18.5% |
| 2位 | 仕事の職種・幅が少なそう | 17.1% |
| 3位 | 移住後の生活費 / やりくり | 15.1% |
| 4位 | 求める給与水準の仕事が少ない / なさそう | 14.3% |
| 5位 | 移住にかかる諸費用 / 金銭的負担 | 13.1% |

“ 地元企業のことを知っていると戻りたくなる ”

地元企業の認知程度別・出身市町村へのUターン希望



出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構「地域雇用の現状と課題」（2016年5月11日）を基に

株式会社リクルートキャリア作成

※%表示の際に小数点第2位で四捨五入しており、合計値が一致しない場合がある

1

まち・ひと・しごと 創生本部設置



まち・ひと・しごとの創生が
国家アジェンダに！

- ①東京一極集中の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

※首相官邸ホームページより

2

わきたつ 東北戦略会議



東北経済同友会主催
产学研官のTOPが集まり
開催された会合

※東北経済連合会ホームページより

3

ふるさと教育



島根県教育委員会

重点施策である「ふるさと教育」を、
2005年から全ての公立小中学校・
全学年・全学級で進めている

※島根県庁ホームページより

活動コンセプト

“ 人口減少の全力抑制 ”

兵庫県豊岡市の人団予測

2010年：85,592人 ➡ 2040年：57,608人

1

豊岡市と企業が協同
(採用と育成)



3

兵庫県 但馬区域



兵庫県北部の豊岡市、養父市、朝来市、
香美町、新温泉町を管轄する区域

2

地元の名産



鞆 / コウノトリ / 城崎温泉

移住者を増やしたい豊岡市と人手不足を解消したい企業、
計14社が協同で採用と育成に取組む

地域としての採用向上

新入社員の孤立を防ぐ

1

人事情報共有会



2

合同キャリア開発研修





●(株)川嶋建設 総務部 坂本さん

「学生へは企業説明の前に、**地域の魅力を伝えている**」

「地域の魅力を伝えるのに自社だけでは不十分であれば積極的に**他社を紹介**する」



●但馬銀行 地域密着推進課 北垣さん

「優良企業でも人がいなければ立ち行かない。**人材課題は経営課題** そのもの」

「人事間情報連携によって地域の雇用課題の再認識につながる」



●豊岡市役所 UIターン戦略室 若森主幹

「**若者回復率(*)の引き上げは人口減少抑制** のための重要な対策」

「通信手段の発達は幸せな地方暮らしを可能にする。そういう選択肢を示したい」



道の駅まほろばの皆さん
関西・北海道からのUターン/
鹿児島からのIターン



**但南建設(株)
Fさん**
大阪からのUターン



**袖長建設(有)
Sさん**
地元の大学

Q.地元で働く喜びとは？

A. 「おじちゃんたちが野菜持ってきててくれる。人通りの繋がり、ぬくもりを感じる」

Q.休日の過ごし方は？

A. 「毎週同期の家に集まって遊んでいる、**居場所を感じる**コミュニティ」

Q.地元に帰ろうと思った理由は？

A. 「**地元が好き**、人が減り祭りや運動会ができない、商店街も閉じて寂しい」

Q.合同研修のいいところは？

A. 「先輩と世代が違う、会社同期と接点なし。研修で悩みが知れ励みになる」

Q.地元に帰ろうと思った理由は？

A. 「古民家再生で貢献したい。会社で**町のために**という言葉は頻繁に出る」

Q.建築に携わる理由は？

A. 「土木施工管理で同世代と会わない。建築は多くの人に関わるので他業種と触れられて良い」

活動コンセプト

“十勝”として最後まで面倒を見る！

北海道帯広市の人団予測

2010年： 168,057人

2040年： 131,198人

1

帯広市と企業が協同
(採用と育成)



2

地元の名産



3

食糧基地区域



畑作 / 酪農 / 農業 / 製菓業

25.6万ha(*)の耕地面積を占める
食糧基地としての役割を担う区域

*十勝総合振興局のホームページより

多くの十勝企業の認知

会社を超えた
横の繋がりを増やす

1 とかち業界研究フェア



2 合同内定式





●十勝三菱自動車販売(株) 総務課 宮本係長

「十勝のどこかの企業に学生が勤めてくれれば本望」と想って活動している」

「2011年頃、200人いた業界研究フェアが直近では60名程度の状況」



●川田工業(株) 川田取締役 専務執行役員

「協議会は人事同士の教えあう場」「自社利益を前面に出すのではなく、

学生の悩みに真摯に応えることは地域の先輩である大人の役目」



●帯広市役所 商工観光部 鶩北係長

「十勝で働く魅力」はアグリテック等、北海道ならではの「農業を取り巻く周辺の産業」

「身内や知り合いのいないIターン者が繋がりを持てる仕組みの構築が重要」



●十勝三菱自動車販売株式会社の皆さん
札幌からのUターン



●北王ホールディングス(株)
Sさん
奈良からのUターン



●(株)カルテック
Kさん
大阪からのUターン

Q.地元に帰ろうと思った理由は？

A. 「人事の方が、名前を覚えていてくれた」「**家族や親せきとの距離が近い**。働き続けるなら地元がいいと思った」

Q.休日の過ごし方は？

A. 「同期と過ごすことがよくある。別の会社の同期とLINEを交換した」

Q.地元に帰ろうと思った理由は？

A. 「家族との距離が近く、
豊富な自然と美味しいご飯
があるから」

Q.Uターン活動は大変だった？

A. 「3週間学校を休んで十勝で就職活動を行った」

Q.地元に帰ろうと思った理由は？

A. 「悩んだ時に**相談に乗ってくれる知り合い**がいること」

Q.十勝の魅力は？

A. 「豊富な自然と美味しいご飯があり、住みやすい」

就域とは？

就職 - CITY -



就域 - LOCAL -





しゅういき 就 域



地域の中小企業と行政・金融機関が連携。
街ぐるみで地域に根差す若者の定着支援。

東京一極集中に歯止めが利かない現状において、限られた次世代の若者を地域一体となって育むことで
地域振興を図るという共通の目的を設定。本来であれば利害の異なる採用における競合同士が
地域コミュニティを形成し、採用活動や研修活動を行う事例がでてきている。

中小企業1社では実施できなかった。
地域で働く
魅力の発信力
高まる！

街ぐるみでの活動

採用・育成の
手厚いプログラム
提供

研修を通じた学生
同士のつながり

本的に存在した
街への愛情を地域に
根差せる場づくり

都市部からの
Uターン／Iターン
事例が増加